



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 三越伊勢丹ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 3099 URL <http://www.imhds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 洋

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 滝口 一雄

TEL 03-5843-5115

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	574,931	△1.5	8,163	△9.8	6,666	△57.5	1,743	△91.5
24年3月期第2四半期	583,645	0.6	9,046	886.2	15,704	82.8	20,576	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,769百万円 (△82.1%) 24年3月期第2四半期 21,025百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.42	4.41
24年3月期第2四半期	52.16	52.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,181,937	468,102	38.6
24年3月期	1,227,947	468,479	37.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 455,895百万円 24年3月期 456,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,234,000	△0.5	25,000	4.9	30,000	△22.0	21,000	△64.3	53.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 詳細は、添付資料P5「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	394,759,494 株	24年3月期	394,751,494 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	256,944 株	24年3月期	250,439 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	394,502,343 株	24年3月期2Q	394,484,775 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、震災復興に伴う公共投資の本格化に加え、エコカー補助金などを背景に個人消費が堅調に推移するなど、緩やかに景気回復の動きが見られました。しかしながら、株価低迷や消費税増税・電気料金値上げに対する懸念、さらに海外では欧州債務問題や中国の景気減速など、国内外で先行き不透明な状況が続きました。

百貨店業界におきましては、昨年の震災影響の反動から4月の全国百貨店売上高は前年実績を上回りましたが、その後の売上高は、東京地区がほぼ前年並みと堅調に推移しましたが地方百貨店が伸び悩み、全体では前年実績を下回りました。

このような状況の下、当社グループは「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向けた取組みを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は574,931百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益は8,163百万円（前年同四半期比9.8%減）、経常利益は6,666百万円（前年同四半期比57.5%減）、四半期純利益は1,743百万円（前年同四半期比91.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

中核の百貨店業におきましては、当グループにおける最重要戦略である伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店の基幹3店舗の磨き上げについて、本年は伊勢丹新宿本店の再開発に着手しております。平成25年3月のグランドオープンに向け、5月より各フロアで改装工事が始まり、前年に比べ営業面積が減少しておりますが、上期の伊勢丹新宿本店の売上は前年実績を上回りました。また、三越日本橋本店・三越銀座店につきましても売上は堅調に推移いたしました。

首都圏以外の国内グループ百貨店におきましては、全体の売上は前年実績を下回りましたが、仙台三越、広島三越、高松三越などは前年実績を上回りました。

顧客接点の拡大と充実に向けた新規小型店舗の展開におきましては、4月に紳士雑貨とフーズギフトを中心とした「イセタン 羽田 ストア」を羽田空港国内線第1旅客ターミナル内にオープンいたしました。ラグジュアリーコスメ編集ショップ「イセタンミラー」については、9月に2号店をルミネ大宮にオープンさせ、さらに平成25年1月にはセレオ八王子に3号店をオープンする予定です。また、昨年度に期間限定出店した「伊勢丹アウトレットストア」については、7月より佐野プレミアムアウトレットに常設出店をいたしております。

なお、専門館事業で運営しておりました新宿三越アルコット店は、同ビルを外部に一括賃貸することに伴い、3月31日をもちまして営業を終了しております。

海外におきましては、グループ収益基盤の強化に向け、経済成長率の伸びにやや鈍化の傾向が見られるものの、引き続き堅調な成長が見込まれる中国・東南アジア地域での市場の開拓と深耕に取組み、5月にマレーシアで4号店となるワンウータマ店を新規オープンいたしました。また、今冬、中国の天津市に2号店を、さらに平成25年末にシンガポール6号店、平成26年末に中国の成都市に2号店をオープ

ンする予定となっております。

これらの結果、百貨店業全体での売上高は520,686百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は4,948百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

②クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業におきましては、株式会社エムアイカードが会員数の拡大とともに収益力の高い経営基盤の構築に取り組みました。また、エムアイカードの契約や生計が別でも、家族内で最も高い優待率が全員に適用され、年間お買上げ額も合算される新サービス「つながります」をスタートさせるなど、お客さまの利便性向上を図りました。

この結果、売上高は15,016百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は2,251百万円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

③小売・専門店業

小売・専門店業におきましては、食品製造・スーパーマーケット業の株式会社三越伊勢丹フードサービスが、安心安全な商品や自社製造機能を活用した独自性の高い商品の提供により、地域のお客さまの満足度向上に向けて取り組みました。また、同社として初の新規出店となる「クイーンズ伊勢丹ふじみ野店」を、6月に埼玉県ふじみ野市の「ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野」内にオープンいたしました。開店に伴う一時的な費用の発生により減益となっております。

通信販売業の株式会社三越伊勢丹通信販売は、WEB・カタログ・TV通販、さらに会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」の展開など、利便性の高いサービスの提供に取り組みました。

この結果、売上高は41,246百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業損失は885百万円（前年同四半期は営業損失36百万円）となりました。

④不動産業

不動産業におきましては、株式会社三越伊勢丹ビルマネジメントが、営業支援および省エネ・防災関連業務に取り組みました。

この結果、売上高は14,292百万円（前年同四半期比31.7%増）、営業利益は454百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、情報処理サービス業の株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ、物流業の株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート、人材サービス業の株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ等が、営業支援および生産性向上に向けた業務に取り組みました。

この結果、売上高は35,228百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は1,256百万円（前年同四半期比19.8%減）となりました。

なお、10月1日付で卸売業のレオドル商事株式会社は、株式会社三越伊勢丹ギフト・ソリューションズへ商号を変更しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,181,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ46,009百万円減少しました。これは主に、手元流動資金の圧縮、季節要因による受取手形及び売掛金の減少等、流動資産の減少のほか、持分法投資損失の計上による投資有価証券の減少などによるものです。

負債合計では713,835百万円となり、前連結会計年度末から45,632百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払金等の流動負債のその他の減少などによるものです。

また、純資産は468,102百万円と前連結会計年度末から376百万円減少しました。これは主に、配当により利益剰余金が減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べて1,002百万円増加し、31,265百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、28,383百万円の支出となりました（前第2四半期連結累計期間は9,589百万円の収入）。これは主に、未払金の減少などによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、11,689百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ支出が886百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3,766百万円増加したことなどによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、17,974百万円の収入となりました（前第2四半期連結累計期間は25,509百万円の支出）。これは主に、コマーシャル・ペーパーによる調達などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月10日公表の通期業績予想を修正しております。売上高については、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、6,000百万円減額しておりますが、営業利益については、売上総利益率の改善と経費削減を推し進める為変更しておりません。経常利益及び当期純利益については、持分法適用関連会社である株式会社ジェイアール西日本伊勢丹が平成25年3月期第2四半期において特別損失（減損損失）を計上したことに伴い、持分法による投資損失が増加した為、それぞれ8,000百万円減額しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,137	33,089
受取手形及び売掛金	105,895	92,536
有価証券	268	216
商品及び製品	54,856	55,841
仕掛品	118	110
原材料及び貯蔵品	1,079	1,099
その他	62,323	43,056
貸倒引当金	△3,470	△3,260
流動資産合計	260,208	222,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	175,969	173,906
土地	536,702	535,474
その他（純額）	21,011	22,580
有形固定資産合計	733,684	731,961
無形固定資産		
ソフトウェア	13,332	13,387
その他	35,488	35,381
無形固定資産合計	48,821	48,769
投資その他の資産		
投資有価証券	84,894	80,204
その他	100,965	98,969
貸倒引当金	△693	△707
投資その他の資産合計	185,167	178,466
固定資産合計	967,673	959,197
繰延資産		
社債発行費	65	50
繰延資産合計	65	50
資産合計	1,227,947	1,181,937

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,791	96,452
1年内償還予定の社債	—	12,000
短期借入金	22,964	39,645
コマーシャル・ペーパー	24,000	50,000
未払法人税等	3,893	3,561
商品券回収損引当金	22,886	22,189
引当金	13,674	11,129
その他	203,880	158,412
流動負債合計	403,089	393,392
固定負債		
社債	24,000	12,000
長期借入金	102,300	82,300
繰延税金負債	158,769	158,186
退職給付引当金	39,602	39,697
引当金	33	26
持分法適用に伴う負債	—	3,537
負ののれん	13,234	6,617
その他	18,438	18,078
固定負債合計	356,378	320,443
負債合計	759,467	713,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,102	50,106
資本剰余金	325,061	325,065
利益剰余金	103,823	101,622
自己株式	△233	△238
株主資本合計	478,754	476,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,604	△5,842
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△16,567	△14,817
その他の包括利益累計額合計	△22,170	△20,659
新株予約権	1,246	1,200
少数株主持分	10,648	11,007
純資産合計	468,479	468,102
負債純資産合計	1,227,947	1,181,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	583,645	574,931
売上原価	419,589	413,226
売上総利益	164,056	161,705
販売費及び一般管理費	155,009	153,541
営業利益	9,046	8,163
営業外収益		
受取利息	469	461
受取配当金	442	455
負ののれん償却額	6,617	6,617
持分法による投資利益	1,328	—
その他	1,450	1,302
営業外収益合計	10,308	8,836
営業外費用		
支払利息	901	789
固定資産除却損	370	283
持分法による投資損失	—	7,452
その他	2,378	1,808
営業外費用合計	3,650	10,333
経常利益	15,704	6,666
特別損失		
固定資産売却損	200	935
固定資産処分損	—	619
のれん償却額	1,099	—
投資有価証券評価損	1,167	717
合併関連費用	379	—
その他	848	—
特別損失合計	3,694	2,272
税金等調整前四半期純利益	12,010	4,394
法人税等	△9,024	2,398
少数株主損益調整前四半期純利益	21,034	1,995
少数株主利益	458	252
四半期純利益	20,576	1,743

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,034	1,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△331
繰延ヘッジ損益	△32	△1
為替換算調整勘定	596	629
持分法適用会社に対する持分相当額	△446	1,476
その他の包括利益合計	△9	1,773
四半期包括利益	21,025	3,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,304	3,254
少数株主に係る四半期包括利益	720	514

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,010	4,394
減価償却費	12,248	11,516
のれん償却額	1,320	—
負ののれん償却額	△6,617	△6,617
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,721	△3,001
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	159	△197
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	614	191
受取利息及び受取配当金	△911	△916
支払利息	901	789
持分法による投資損益 (△は益)	△1,328	7,452
固定資産売却損益 (△は益)	213	935
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,167	717
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,741	13,093
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△907	△923
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,111	△15,476
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,808	△5,178
未払金の増減額 (△は減少)	△5,628	△34,088
その他	5,753	△111
小計	9,836	△27,419
利息及び配当金の受取額	2,423	2,882
利息の支払額	△886	△796
法人税等の支払額	△1,782	△3,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,589	△28,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,014	△1,820
定期預金の払戻による収入	19	2,137
有形固定資産の取得による支出	△7,602	△11,369
有形固定資産の売却による収入	305	543
無形固定資産の取得による支出	△2,295	△2,811
敷金及び保証金の回収による収入	1,377	2,233
その他	△592	△602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,803	△11,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△31,749	△1,818
長期借入れによる収入	13,300	—
長期借入金の返済による支出	△3,600	△1,500
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	26,000
配当金の支払額	△2,738	△3,913
その他	△720	△793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,509	17,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	336	346
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,386	△21,752
現金及び現金同等物の期首残高	56,649	53,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,263	31,265

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	529,547	6,436	34,722	5,788	576,496	7,149	583,645	—	583,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	319	7,397	7,231	5,066	20,014	28,146	48,161	△48,161	—
計	529,867	13,834	41,954	10,855	596,510	35,296	631,807	△48,161	583,645
セグメント利益又は損失(△)	5,250	1,641	△36	428	7,284	1,567	8,852	194	9,046

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額194百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	519,896	7,114	34,421	6,434	567,865	7,065	574,931	—	574,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	789	7,902	6,825	7,858	23,375	28,162	51,538	△ 51,538	—
計	520,686	15,016	41,246	14,292	591,241	35,228	626,469	△ 51,538	574,931
セグメント利益又は損失(△)	4,948	2,251	△ 885	454	6,769	1,256	8,025	137	8,163

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額137百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。